

Chantey 2011.12 NEWSLETTER FOR YAMAHA MARINE DEALERS 2011.12 No.138

CONTENTS Chantey No.138

Chantey Special

P1:より熟成したウェーブランナーのニューモデル登場

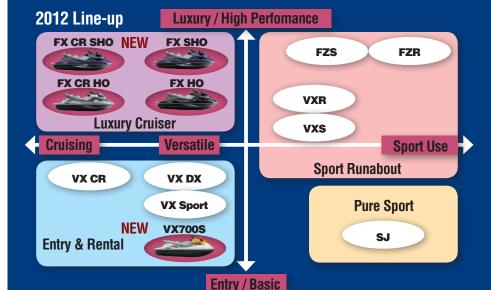
P2: 新製品のセールスポイントをチェック! P3: YAMAHA WAVE RUNNER トピックス

YAMAHA MOTOR CO., LTD., Marine Business Operations, 1400 Nippashi, Minami-ku, Hamamatsu, Shizuoka 432-8528, Japan



より熟成したウェーブランナーのニューモデル登場

クルーザータイプとして定評のある「FX Cruiser SHO」「FX Cruiser HO」「FX SHO」「FX HO」。そして扱いやすく、誰もが気軽にスポーツライディングが楽しめる「VX700S」。ヤマハでは、この秋、ウェーブランナー2012ラインナップにこれら5モデルをニューモデルとして投入した。世に初めてのタンデムモデルを送り出し、その後25年間にわたって培ったこだわりとノウハウを結集したニューモデルたちだ。ぜひ、ひとりでも多くのお客さまにこれら新製品の魅力を伝えて欲しい。



KING OF CRUISERS

クルーザーモデルとして 飛躍的に完成度が高まった

FXシリーズの4モデルは「KING OF CRUISER」のコンセプトの元、好評だった FXシリーズのハルを新設計するなどフルモデルチェンジを図った。エッジを効かせたシャープなデザインをまとった艇体は軽量素材ナノエクセルを採用。全長を約20cm長くしたボディは、高速走行での更なる安定性と快適なクルージングを実現した。さらに新形状のシートやスイッチ類のレイアウトを見直



し操作性を高 めるなどエルゴ ノミックな設計 により、クルー ザーモデルとし ての完成度を 飛躍的に高め たモデルだ。

VX700S with VAR-MAX

VARTM 工法の採用による軽量化で 走りのパフォーマンスを実感できる

手軽なモデルながら、躍動感あふれるスポーツライディングが楽しめる「VX700S」は、パーソナルユースだけでなくリゾートなどでのレンタルユースでも人気が見込めるニューモデル。新工法の導入によりいっそうの軽量化を図り、パフォーマンスを高めただけでなく、生産拠点を日本に以降したことで、東南アジアをはじめとする重要市場にいっそうの安定供給が可能になった。





新製品のセールスポイントをチェック!

KING OF CRUISERS 新化したFXシリーズ

新設計のハルがより快適で 走りの楽しさを与えてくれる

丸みを持たせたチャイン形状に変更したことで、旋回時の横G を軽減しソフトな乗り味を実現しました。また、ハル後方まで延長したラウンドキールにより、チョッピーな水面コンディションでもアドバンテージを発揮し、快適なライディングを楽しめるようにしました。

クルーザーモデルとしての 快適性・機能性を追求

- ●「FX Cruiser SHO」および「FX Cruiser HO」には、サポート性に優れ3人の乗船者が快適な着座姿勢を確保できる新形状のクルーザーシートを、「FX SHO」と「FX HO」にはスムースな体重移動が可能なスポーティな形状のシートを採用しています。
- 新たにニュートラルポジション付きのシフトレバーを採用し、 離着岸や狭い水域での操作性を大幅に向上させました。
- ●4段階に調整可能なレイズドハンドルバー、ハンドルグリップ やリボーディングステップの形状、メーターパネルの切り替え スイッチ、アクセスしやすい物入れの位置など、人間工学に 基づいた設計により機能性を高めました。
- スターン物入れの新設やバウ大型物入れなどにより、従来モデル比140%の物入れスペースを確保。

定評ある 4 ストロークエンジンを搭載

「MJ-FX Cruiser SHO」および「MJ-FX SHO」には、総排気量1,812cm3、直列4気筒、DOHC4バルブ、スーパーチャージャー付き4ストロークエンジンを、「MJ-FX Cruiser HO」「FX HO」には1,812cm3の排気量1.8L、NA (Natural Aspiration) High Outputエンジンを搭載。いずれも優れたスピード性能と加速性能を発揮します。















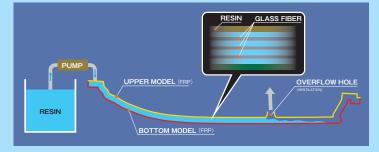


新工法の採用メイド・イン・ジャパンのWV

新工法 VAR-MAX を導入

ガラス繊維を閉じた型の中に入れ、負圧を利用して樹脂を注入する成形方法VARTM(Vacuum Assisted Resin Transfer Molding)を採用。内側・外側ともに美しい仕上がりが得られるだけでなく、軽量化も実現した。





均一化した品質を安定供

生産ラインを日本国内に移 管し、均一化した高品質な 製品の、いっそう安定的な供 給を可能にしています。





乗りやすさ、使いやすさを追求

- 艇体の軽量化と高性能エンジンとのマッチングで加速性能、旋回性能に長けたライディングを実感できる。
- 大型ストレージの採用や広めのリアプラットフォームなど様々な遊びに対応する。

YRA のインストラクターが各地で誕生。 安全やマナーへ意識の高まりが 世界に広がる

ヤマハでは昨シーズンより本格的にYRA(YAMAHARIDINGACADEMY)を導入。インストラクターの養成を行った後は、各地で誕生したインストラクターによるユーザーへの講習が積極的に繰り





広げられている。目的は「正しい乗り方、安全な乗り方、さらに役立つ乗り方楽しい乗り方を普及すること。これらのことにより顧客の安全が守られるばかりでなく、顧客の安心感を通じて製品の魅力・利点が拡大され、また、社会的認知の獲得により、安定した市場環境が得られる、事故などによる不合理な禁止・規制が回避・低減される、などの効果が見込め、WVビジネスの基盤づくりに欠かせないと考えられます。

2011年はタイ、フィジー、中国、ロシア、日本において6回インストラクター講習を実施。そのうちロシアのYRAでは8月1日から5日までの5日間にわたってロシア北西部のヤロスラブリで実施され、国内の販売店、販売会社から17名が参加。参加者は自国

Yamaha WaveRunner トピックス

の健全な市場育成やユーザーに対してよりWVを 楽しんでいいただこうとの意気込みで、真剣に受講 されていました。

日本最大のマリンジェットイベント・ユーザーイベント 「YAMAHA S-1 SLALOM GRANDPRIX |

ユーザーが、普段乗っているウェーブランナーで 気軽に参加できるタイムトライアルイベント、それが ヤマハS-1スラロームグランプリ。各地で行なわれ る大会は全てイコールコンディションで設定。風や 波などのコンディションの差こそあるものの、テク ニックの差がそのままタイムに現れることが魅力で、 日本でも根強い人気がある。

さる10月9日、日本では千葉県を流れる利根川に おいてS-1の全国大会「YAMAHA S-1 SLALOM GRANDPRIX」が開催された。エントリーしたのは 2011年4/1~10/1までの期間で開催された地域 大会での各クラス上位5位入賞者、そしてS-1開



催ディーラーが 推薦した選手た ち、総勢61名。

参加者たち」は家族や仲間の大きな声援を 受けながら、各



クラスの頂点を目指しタイムを競い合った。

ブラジルで初の WaveRunner ディーラーミーティングを開催

ブラジルでは9月29日、同国では初となる国内の ウェーブランナー取扱店を対象としたビジネスミー ティングをサンパウロにて開催した。

このミーティングには18社から26名が参加。 2012MYの商品説明、YMDBによる顧客調査の フィードバックを行ったほか、安全講習を中心に行い、参加者は熱心に耳を傾けた。また、各販売店の 販促活動などの情報交換も紹介し合あった。有意 義なミーティングは参加者からも好評だ。

ブラジルのWVマーケットは依然として好調だ。 ミーティング終了後の商品予約でも多くの申し込 みがあった。



